

第2学年2組音楽科学習指導案

平成16年6月10日(木) 2校時

指導者 矢野 敬平

1 題材 音がくに あわせて

2 目標

- リズム奏や階名唱に興味をもち、互いの声を聴き合って合わせようとすることができる。 (関心・意欲・態度)
- 歌ったり身体表現をしたりして拍の流れを感じ取りながら、輪奏・分担奏・合奏の工夫ができる。 (感受・表現の工夫)
- 拍の流れに乗って簡単なリズムを表現したり、リズム伴奏に合わせて表現したりすることができる。 (表現の技能)
- 楽曲の気分や拍の流れを感じ取って聴くことができる。 (鑑賞の能力)

3 教材

- かっこう 小林純一 作詞/ドイツ民謡
- かえるのがっしょう 岡本敏明 作詞/ドイツ民謡
- みみずくおじさん 佐田和夫 作詞/川崎祥悦 作曲
- なかよしマーチ 平井多美子 作詞/市川都志春 作曲
- ラデッキーこうしんきょく ヨハン シュトラウス (父) 作曲
- シャボン玉 野口雨情 作詞/中山晋平 作曲

4 指導計画 (13時間扱い)

教材	第一次			第二次						第三次			
	1	2	3	4	5 (本時)	6	7	8	9	10	11	12	13
かっこう	○		○										
かえるのがっしょう		○		○	○								
みみずくおじさん						○	○					○	
なかよしマーチ								○	○	○	○		
ラデッキーこうしんきょく													○
シャボン玉				○	○		○		○	○		○	○
指導内容	・歌ったり身体表現をしたりして、拍の流れを感じ取る。			・拍の流れに乗って、簡単なリズムを表現できるようにする。						・リズム伴奏に合わせて歌ったり、合奏したりして楽しむ。			

6 本時の目標

- 歌や鍵盤ハーモニカで輪唱や輪奏をしたりすることができる。

7 学習指導過程

学習内容及び学習活動	指導上の留意点	資料・準備
(1) 既習曲を歌う。 (2) 「かつこう」を演奏する。 ・ 歌 ・ リズム ・ 鍵盤ハーモニカ (3) 「かえるのがっしょう」を歌う。 ・ 歌 ・ 鍵盤ハーモニカ (4) 本時のめあてを確認する。 ・ うたやけんばんハーモニカで、 おいかけっこをしよう。	○ 既習曲を歌うことで、学習の雰囲気作りを行う。 ○ 1段目と3段目のリズムの変化に注意して演奏するように声を掛ける。 ○ 歌に合わせて身体反応をし、拍の流れを感じ取れるようにする。 ○ 音量のバランスを考えて分担人数を調整する。 ○ 歌を歌ったり、鍵盤ハーモニカで演奏をしたりすることで前時の学習の想起をし、本時の学習に結び付けていく。 ○ 本時学習のめあてを確認することで、学習への見通しをもたせる。	○CD ○タンブリン ○カスタネット ○めあてカード
(5) 輪唱・輪奏をする。 ・ 輪唱をする。 ・ 鍵盤ハーモニカで旋律を練習する。 ・ 隣の人と鍵盤ハーモニカでの輪奏を練習する。 ・ 全体で輪奏をする。	○ 輪唱をすることで、鍵盤ハーモニカでの輪奏のイメージをつける。 ○ 机間指導を行い、鍵盤ハーモニカの苦手な児童を中心に指導していく。 ○ 指づかいに気をつけて弾くよう助言する。	
(6) 輪唱・輪奏を発表し合う。	○ 鍵盤ハーモニカが苦手な児童や、人前で歌うことが苦手な児童でも発表ができるように、輪唱か輪奏かは児童に選択させる。	
(7) 本時のふり返りをする。	○ 本時の学習をふり返り、その取り組みを賞賛することで満足感に浸れるようにする。	

8 板書計画

かえるの絵 ◎めあて◎ うたやけんばんハーモニカで おいかけっこしよう！	おいかけっこ はっぴょうかい
---	---

いそぎの輪を ぬく 最後は金餅？

うたやけんばんハーモニカの方の3人？